



7年目




高知中央
訪問看護ステーション
高村智絵さん

Q  新卒で訪問看護師を目指し、これまでの経験から成長ややりがいを感じる点を教えてください。


A 緊急対応時に1人で対応できたときには、訪問看護師としての自身の成長を感じました。また、予後が短い方が自宅で最期を迎えられ、利用者さんと家族の「自宅で最期を迎えたい」という思いに寄り添えたと思う時にやりがいを感じます。

Q  困った時や悩んだ時期はどのように対処をされ、乗り越えてこられましたか。


A 訪問に関して困ったことがあれば必ず先輩に相談して、対応策を考えるようにしています。特に利用者さんの病状で悩む時は、意見交換することで答えを導けることが多いです。

Q  これからどのような訪問看護実践を目指していきたいですか。今後の目標を教えてください。


A できることが増えてくると、ケア等の実施内容に意識が向きやすくなってしまうので、病気や治療、在宅での生活に対しての利用者さんや家族の思いに寄り添うという初心を忘れないように日々の看護を行いたいと思います。

Q  新卒で訪問看護師を目指し、これまでの経験から成長ややりがいを感じる点を教えてください。


A 入院中にADLや意識レベルが落ちた利用者さんが、自宅に戻ってご家族や訪問看護など在宅サービスとの関わりを通して徐々にその人らしく戻られる姿を見るとやりがいを感じます。

Q  これからどのような訪問看護実践を目指していきたいですか。今後の目標を教えてください。


A 初心を忘れず、今後も利用者さんや家族がその人らしく在宅で過ごせるよう、人となりや全体像を大切にした看護を実践していきたいです。

Q  新卒で訪問看護師を目指す方へメッセージをお願いします。


A ついつい病棟看護師と比べてしまうことはあると思いますが、訪問看護をしていると色々な現場で仕事をする看護師に出会います。一人ひとりの利用者さん・家族と向き合った看護をしたいと思う方はぜひ挑戦してみてください。

Q  新卒で訪問看護師を目指し、これまでの経験から成長ややりがいを感じる点を教えてください。

A 利用者さんから様々な質問をされた時に過去に、関わってきた事例に沿ってわかりやすく具体的に説明できるようになってきたことに成長を感じます。自分が答えたことを利用者さんが実践してみて「楽に生活できた」「苦痛が緩和できた」と言ってもらえたときにやりがいを感じます。

Q  困った時や悩んだ時期はどのように対処をされ、乗り越えてこられましたか。

A 先輩に相談して、そのアドバイスをもとに再度訪問した時に実践してみたり、多職種と連携するなど、その都度、対応策を考えてきました。利用者さん・家族への説明や調整のタイミングは難しいですが、対象者の方々に寄り添うという看護の基本を忘れないようにしています。

Q  新卒で訪問看護師を目指す方へメッセージをお願いします。

A 在宅は利用者の生活が一番見える場であり、同じ疾患でも利用者さん一人ひとり、全く違う看護が展開される場でもあります。個々に合わせた看護が出来る訪問看護の楽しさを知ってもらえればと思います。

8年目



竹本病院
訪問看護ステーション
室津弥生さん

8年目



こうち看護協会
訪問看護ステーション
大崎萌乃さん

Message



高知県訪問看護連絡協議会 会長
高知中央訪問看護ステーション 管理者
安岡しずかさん

高知県訪問看護連絡協議会では、令和5年度より高知県の委託を受け、高知県訪問看護総合支援センターの運営を行っています。当センターでは、看護学生の皆さんの支援として、訪問看護ステーションの仕事を体験できるようにインターンシップの調整や、地域の訪問看護ステーションと新卒看護師の雇用をマッチングできるようにニーズ調査を行っています。

また、新卒訪問看護師の育成に関しては、現場の声をもとに現状や課題について、高知県看護協会や高知県立大学、高知医療センター等と連携しながら、より実践的で充実した研修内容を提案していけるように取り組んでいます。

訪問看護は、子どもから高齢者まで様々な病気や障害を持ちながら地域で暮らす人と家族へのケアを行う多様性が求められます。今後も高齢化が加速していく高知県の中で、ひとりでも多くの県民が住み慣れた地域で最期まで暮らすことができるように地域で活躍できる看護職の育成を応援しています。

県内10ヶ所以上の訪問看護ステーションが
新卒訪問看護師を育成しています。



高知医療センター 看護局長
田鍋雅子さん

2年目訪問看護師の倫理研修に加えて、令和5年度より手技向上研修と病棟実習の受入れを開始しました。手技向上研修は、4月に当センターの新卒看護師と一緒に受講していただく研修です。研修内容はプログラムの中からニーズに応じて選択することができます。

令和5年度は、医療安全、感染対策の講義や、血糖測定、採血、静脈留置針の挿入、褥瘡ケアなどの技術研修を受講していただきました。すでに経験したことのある手技を根拠や感染管理の視点から再考する時間にもなっています。

病棟実習は、10月頃に訪問時に対応の多いケアなどを中心にニーズに沿って行っています。指導者は、新人看護師の指導に携わっている実地指導者リーダー、看護副科長や教育担当者です。病院での実習から在宅看護でのポイントを考えるなど、気づきを大事に支援しています。

高知医療センターは本講座の
サポートをしてくれています



高知県立大学健康長寿研究センター 高知県中山間地域等訪問看護師育成講座

〒781-8515 高知県高知市池2751番地1
TEL：088-847-8815 FAX：088-847-8579
E-mail：homecare@cc.u-kochi.ac.jp
<https://www.u-kochi.ac.jp/site/homecare/>



県内の訪問看護ステーションでインターンシップが可能です！

詳細は高知県訪問看護連絡協議会のホームページをご覧ください
<https://www.kochi-houkan.com/>



高知県中山間地域等
訪問看護師育成講座

新卒
訪問看護師
募集

高知家を支える
訪問看護師になりませんか？

訪問看護 スタートアップ 研修



高知県内の
訪問看護ステーションに
新卒で就職された方を
対象に、大学と所属先で
1年間の研修を行います

新卒訪問看護師の声

実際に受講した新卒卒修了者のうち1～8年目の訪問看護師に質問しました

check!

新卒訪問看護師の声は
ホームページからも
ご覧いただけます



1年目



高知中央
訪問看護ステーション
都築あずさん

Q 新卒訪問看護師として働きながら研修を受講するにあたり不安だったことはありますか？

A 受講される方は病院で何年も働かれてきたベテランの方ばかりなのに、経験も知識も未熟な自分が研修についていくことができるのかとても不安でした。

Q 実際に、研修しながら実践することで学びを支援する「訪問看護スタートアップ研修」を受講されていたか。

A 研修では、一から訪問看護についての制度や特徴、事例などを学び、他の受講生と実際にその場面を想定しながら演習も行いました。そこから、自身では補いきれない知識や技術を習得、振り返ることができたと思います。自信がない技術から未経験な技術まで、研修で先生のご指導を受けながら何度も練習ができたことで、訪問先でも自信を持って実施できるようになりました。また、先生方をはじめ受講されている皆さんがとても優しく、新卒の私でも居心地が良く楽しく受講することができました。

Q 新卒訪問看護師としてやりがいを感じたことを教えてください。

A 最初は見学のみでしたが、徐々に自身で行えることが増えていき、利用者さんやそのご家族に「ありがとう」という感謝の言葉をいただけるようになったことです。また、幅広い年齢層の方を対象に様々な疾患について日々勉強することは大変ですが、知識やアセスメント能力が少しずつ身についていく過程にもやりがいを感じています。さらに、訪問看護ではその時間内は利用者さんとたっぷり関わることができ、コミュニケーションを通して関係性を深められたり、様々な価値観に触れたりできることもやりがいの1つだと感じています。

6年目



訪問看護ステーションまろ
金子佳代さん

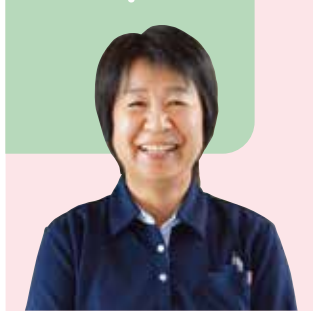
Q これからどのような訪問看護実践を目指していきたいですか。今後の目標を教えてください。

A 個性を重視した看護を行っていきたいと思っています。同じ年齢・性別・疾患でも、生活の仕方や困っていることなど何もかもが違っているため、その人それぞれに合わせた方法での看護を行うことで、その人の生活が成り立っていくと感じています。自分の価値観を押し付けずに寄り添っていききたいです。

Q 新卒で訪問看護師を目指す方へメッセージをお願いします。

A 病院での看護経験がないと訪問看護はできないと言われることもあるかも知れませんが、そんなことはありません。利用者さんやご家族とのコミュニケーションを通じて、自分ができる看護を行い、悩んだことは周りに相談して解決していくことで訪問看護師としてめきめきと成長していけると 생각합니다。高知県は、高知県立大学が訪問看護の育成に力を入れてくれており、困った時は相談できる環境があります。ぜひ訪問看護師として共に学び、悩み、成長していきましょう！

7年目



訪問看護ステーション
けいせい
岡田由佳理さん

Q 困った時や悩んだ時期はどのように対処をされ、乗り越えてこられましたか。

A 訪問中に判断が必要な時は電話して助言や応援をお願いしました。自分だけで解決できない時はステーション内で共有して話し合いました。不安だとは思いますが、皆が助けてくれます。1人で頑張り過ぎずに、助けを求める事も大切だと思います。

Q これからどのような訪問看護実践を目指していきたいですか。今後の目標を教えてください。

A 突発的な事があった時の対応力が少しずつ付いて来たので、利用者さんの体調管理を支援しながら、家族を含めて生活全体に気配りができればと思います。

Schedule

新卒訪問看護師一人前への道

訪問看護は自宅や施設など地域のなかの暮らしの場で実践する看護です。高い実践力や自律性が求められ、臨床経験のない新卒の看護師には、訪問看護は難しいと言われてきました。高知県では、平成27年度から訪問看護ステーションと大学、その他協力機関が連携して、訪問看護に必要な知識・技術・態度を習得できる新卒訪問看護師育成のための学習支援を行っています。毎年数名の新卒訪問看護師を育成しています。

1年目

voice
1人で訪問看護ができる実践力を身につけ、組織の一員として役割を果たすことができるようになる。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Work 仕事											
新人研修											
■ 就職 ■ 入職時 新人研修 ■ 利用者さん宅へ初めての訪問 ■ 看護記録の作成 ■ 外来病棟研修 ■ 利用者さんごとの手順書の作成 ■ 看護計画・報告書の作成 ■ 単独訪問見極め ■ 単独訪問スタート ■ 様々な利用者さんを訪問											
Training 研修											
大学での講義・演習											
■ 開講式 ■ 看護技術チェック ■ 「地域調べ」を行い、訪問エリアの魅力を再発見 ■ 病院看護師や先輩看護師と一緒にグループワーク ■ 看護技術・OJTチェック ■ 福祉機器の学習 ■ 教員がステーションに向き所長さん先輩とともに振り返り ■ フィジカルアセスメント研修① ■ 看護技術・OJTチェック ■ 毎週のケースプレゼンテーションでケアを考える ■ 新卒2年目の先輩の経験から学ぶ ■ フィジカルアセスメント研修② ■ シミュレーターを用いて、手技の演習 ■ フィジカルアセスメントワークショップ ■ 在宅BLS研修(外部) ■ 看護技術・OJTチェック ■ 実践の振り返りと自己学習 ■ フィジカルアセスメント研修③ ■ 看護技術・OJTチェック ■ 1年間の総まとめ ■ 修了式											
開始～3ヶ月目											
週3回の大学での講義・演習・振り返り 訪問看護に必要な知識と技術の習得を目指す											
個別学習ニーズに対応した研修体制 例 訪問診療の診療医師等との同行訪問研修、病院の病棟・外来・退院調整室での研修、就職した訪問看護ステーション以外の訪問看護ステーションでの研修など											
4ヶ月目～12ヶ月目											
所属の訪問看護ステーションでのOJT先輩との同行訪問 時間差訪問・単独訪問・振り返りを行い、訪問看護の現場で実践力を高めます											
受け持ち事例の展開 年間4～6回の受け持ち事例の アセスメント・看護計画・看護手順の立案をし、単独訪問に繋げます											
専任教員のサポート 専任教員が訪問看護ステーションに向き、利用者さんへのアセスメントやケアに対するアドバイス、学習の進捗状況の確認・相談などに対応し、訪問看護師としての成長をサポートします											

2年目

voice
訪問看護の専門知識・技術を高め、緊急訪問や24時間対応ができるようになる。
生活や地域を見る視点を持ち、多職種と連携・協力ができるようになる。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
FollowUp 研修											
月4回程度のフォローアップ研修											
■ 研修計画を立てよう ■ OJTチェック ■ フィジカルアセスメント研修① ■ 2年目研修(在宅CNS) ■ 在宅におけるリスク予防と対処 ■ フィジカルアセスメント研修② ■ OJTチェック ■ 24時間体制と緊急訪問への対応 ■ 家族の力を活かす支援と家族教育 ■ 在宅BLS研修(外部) ■ 在宅の症状マネジメント「がん疼痛」 ■ 在宅の症状マネジメント「がん疼痛」 ■ 在宅の症状マネジメント「がん疼痛」 ■ 在宅の症状マネジメント「がん疼痛」 ■ 在宅の症状マネジメント「がん疼痛」 ■ 在宅の症状マネジメント「がん疼痛」											
13ヶ月目～24ヶ月目											
月に4回程度のフォローアップ研修を実施 看取り、多職種連携、退院支援、リスクマネジメントなどの多様な研修を実施											
定期的なシミュレーショントレーニングを実施 18ヶ月頃には、急変対応や、24時間の電話当番ができるように定期的なシミュレーショントレーニングを実施											

3年目

voice
複雑なニーズを持つ利用者さんやご家族の支援ができるようになる。
退院支援・看取り支援など意思決定支援ができるようになる。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
FollowUp 研修											
3ヶ月に1回事例展開(ケースプレゼンテーション)、フィジカルアセスメントワークショップなど											
■ 職場の教育計画に沿った研修 ■ ケースプレゼンテーション ■ ケースプレゼンテーション ■ ケースプレゼンテーション ■ ケースプレゼンテーション ■ フィジカルアセスメントワークショップ											
← 3年目病棟研修 →											

自信を持って訪問看護ができるように臨床判断の力をつけましょう！



4年目

voice
ケア検討会、事例研究などを通して、自らの看護を言語化し、説明ができるようになる。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
FollowUp 研修											
年に数回の事例展開(ケースプレゼンテーション)、フィジカルアセスメントワークショップなど											
■ ケースプレゼンテーション ■ フィジカルアセスメントワークショップ											

新卒訪問看護師のモデルになれるようにがんばれ～！



高知県立大学・高知県・高知県医師会・高知県看護協会・高知県訪問看護連絡協議会・高知県社会福祉協議会・高知医療センターが協力して“訪問看護師”の育成を支援しています！

私たちが学びの応援団です！
訪問看護師としての成長を
全力でサポートします。

ラーニングパートナーシップ

高知県立大学の教員と訪問看護ステーションの学習支援担当看護師が連携し、ラーニングパートナーとなり成長を支援します！

ネットワークづくり

受講者同士の交流や情報交換をとおして、同じ高知県内で訪問看護に携わる仲間づくり、ネットワークづくりができます！

看護技術の習得

訪問看護師に求められる基本的な看護技術は、高知県立大学のシミュレーター等を用いた対象別・状況別の演習と、OJTや他施設実習で習得できます！



フィジカル
シミュレーション



教員との
面談



スキルチェック
シミュレーション
研修